

あかしあ

AKASHIA

- 発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子
 ●連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5
 電話 03(3849)1188
 FAX 03(3849)7001
 ●印刷 足立区大谷田就労支援センター
 法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行

平成23年度 第3回評議員会・理事会報告

開催日 平成24年3月15日(木)
 評議員会 午前10時～午後12時
 理事会 午後12時～12時20分
 場所 足立あかしあ園 3階会議室
 議案

- 第1号議案 平成24年度事業計画(案)・予算(案)について
 第2号議案 平成23年度第2次補正予算(案)について
 第3号議案 神明福祉園谷中分室開設について
 第4号議案 施設長等人事について
 第5号議案 理事・評議員の退任及び選任について
 第6号議案 苦情解決第三者委員の選任について
 第7号議案 定款変更について
 第8号議案 諸規定の制・改訂について
 第9号議案 グループホーム「綾瀬ハウス」(仮称)開設について
 第10号議案 新規通所施設開設計画について

平成24年度の各事業所の事業計画・予算(案)並びに前記議案についてご審議をいただき、全ての議案が原案通り承認されました。

景気の停滞など経済の厳しさから、「社会保障と税の一体改革」という名目で増税が論議されています。平成25年施行に向けた障害者総合福祉法(仮称)の行方にも影響を与えるもので、骨格提言に盛り込まれた私たちの望む方向になるのか、大変気になるところです。法人としては、中期経営計画に沿った通所施設やグループホームの拡充、要望の強い医療的ケアの取り組みや居宅介護事業等を推進し、地域生活支援事業の充実を注いでまいります。

なお、その後開催された平成24年度第1回臨時理事会において第10期理事長・副理事長等の選任について協議が行われました。岸本美恵子理事長、鈴木妙子副理事長が再任されるとともに、丸山亮子氏が新しく副理事長に選任されました。

ソウェルクラブ海外研修報告

平成24年1月21日から28日まで、オーストラリア・ニューギニア研修に参加させていただきました。オーストラリアでは幼稚園と高齢者施設を、ニューギニアでは障がい者支援センターと高齢者施設を視察しました。オセアニアと言っても元々はヨーロッパの国と言う事では、日本と違う福祉にたくさん触れる機会がありました。

＜意味合いの違う福祉＞

両国で共通して感じた事は、「福祉」は「奉仕・施し」ではなく、ビジネスとして、自分たちの「仕事」として位置付けられている事でした。商業や工業と違うのは言うまでもありませんが、自分たちの仕事、事業理念や使命をそれぞれがきちんと理解した上で、利用者サービスを行いながらビジネスとして成り立たせている、*Business*な関係を維持している事に刺激を受けました。

＜サービスの質を高める視点＞

障がい者施設では、身体障がい者はあくまでも体にハンデのある人を指し、知的や精神との重複障がい、医療の必要な方が同一施設を利用して居る事が無い、と言う点に驚きと刺激を受けました。日本のように、様々な障がい状況の方が同一サービスを利用する事は、本当に個々に合ったサービスが提供できているのだろうか？障がい状況の違う人が、それぞれに適したサービスを公平に受けるには、その状態に特化したサービスを構築しないと本来の質を高める事は出来ないのではないかと、改めて感じました。

支援に関しては、国際基準であるICF(ストレンジスモデル)を徹底して実施している事や、それらを基に個々のニーズに対して、強みを活かし弱みを補うサービスを展開していました。

＜研修を終えて＞

両国ともに、個人主義が強く感じられ、文化の違いに困惑する部分もありましたが、広義に捉えると納得いく部分もあり、社会的に援助が必要な人に対してその人1人1人に何が必要なのか？を事業者側は真剣にそれぞれ専門の業務の中で考える。いわゆる個人を包括的に支援する仕組みが自然と出来ているのも事実でした。それが現状に甘んじず、常に変化をしながら利用者にとって最高のサービスと、職員にとって至福の時間をどれだけ提供できるかが、事業の存在価値だと感じ、自分自身も今後の業務に役立てようと強く思いました。

(竹の塚あかしあ会 市原純哉)

足立あかしあ園だより

日差しが延び、春らしい空気が漂うようになってきました。春の訪れのうれしさと共に、花粉の恐怖もやってきます。皆さんの対策はいかがでしょうか？

さて、今年度は震災後の被災地支援の取り組みと、次の大きな震災が起きた時のための準備に力を入れた1年でした。1人に1台といわれている携帯電話は、持っていることでの安心とは裏腹に、震災時は全く機能しないものとなってしまい、常に気軽に連絡をとることができない環境に慣れていただけに、連絡が取れない不安は携帯電話普及以前より大きかったのではないのでしょうか。

そのような中、利用者家族には緊急時の連絡先を23区以外や自宅近隣の方へも広げていくことに協力していただき、施設内では防災備品の再検討を行いより充実させました。また、法人内で共有できる無線機を施設内に設置し、外出先からでも確実に連絡が取れるように改善してきました。

災害時の準備で、「これで安心。大丈夫。」ということはないと思いますので、少しでも安心できることが広がっていくように防災委員会を中心に引き続き検証を重ねていきます。

次年度は、利用者の方々、ご家族の方々が安心して通所に向かえるために、災害時のみならず「安心」を広げていくことができるよう更なる取り組みをしていきますのでどうぞご協力をお願いします。
(堀内)

綾瀬あかしあ園だより

振り返ればあつという間に平成23年度が終わろうとしています。本当に1年経つのは、あつという間ですね。

今回は年度の終わりとという事で、1年間を振り返りたいと思います。

①活動の中での入浴活動の実施・・・入浴活動は始めて良かったと思える活動となりました。人手を必要とする入浴でしたので、体制や職員への負担等が懸念されましたが、入浴の担当職員を中心に十分な検討をして実施することができました。何より、利用される利用者の皆さんの笑顔が一番で、本当に気持ちよさそうに入浴している様子や、「気持ち良かった」の声を聞くたびにそれを実感する事



ができています。

②外部講師による音楽療法の導入・・・外部の講師にお願いして、月に1回の活動でしたが、音楽を通しての



常では見られない皆さんの何ともいえない楽しそうな表情や様子がみられ、皆にとつても月1回のリフレッシュの時間となつてはいます。先生目当ての方も何人かいらつしやいます(笑)

③平成24年度へ向けた新グループ体制の再構築・・・1年かけて職員で話し合い、利用者さん、ご家族の方と多くの方のご協力を頂き、準備を進めてきました。1人ひとりと面談もさせて頂き、自分たちが園に求めている事、やりたい事、皆にとつて必要な事を考えながら、ひとつずつ、皆にとつての綾瀬あかしあ園を作っていくかと思えます。来年度も、綾瀬あかしあ園を宜しくお願い致します。
(森)

竹の塚あかしあの杜「きずな」(生活介護入所)だより

竹の塚あかしあの杜「きずな」では、1月28日に新年会が開催され、今年度はチーム対抗の仮装大会を行いました。

した。普段活動しているグループで利用者・支援員と話し合いながら昨年未から準備を進めてきたながら、各チームの代表者が思い思いの仮装をしてステージに上がりました。



ニンジンを持ったかわいいうさぎ、ピンクのヘアスタイルの宇多田ヒカル、真っ赤な大工、映画の世界からやってきたアバターなど、各チーム思考を凝らした仮装がくりひろげられ、「すごい、かっこいいよ。」「カワイイね。」など大歓声があがりました。

その中でも、現在から時間をさかばつて、結婚?↓青年期↓中学生↓幼児期↓赤ちゃん↓徐々に若返る、映画のような大変身を見せてくれたYさんのチーム、お宝片手に銭形警部から大逃走するルパン三世に変身して「不二子ちゃん」とコミカルに演じて大爆笑を誘ってくれたIさんのチームが、審査員たちの人気を二分して、同点で優勝となりました。

この冬は寒い日が続く、日本全国で大雪のニュースを耳にしましたが、皆で盛り上がった勢いで、暖かい春を迎えられそうです。

(菅原)

竹の塚あかしあの杜のぞみ (生活介護通所) だより

1月10日に「成人の祝い」を行いました。

お祝いのメッセージや手紙の、とても感動する内容に皆さん涙を流している方も多くいらっしゃいました。

のぞみからは、利用者さん一人一人の「おめでとう」と書かれたメッセージが門を飾りました。職員からは入所時から今までの、写真が入ったスライドショーを作り上映しました。

2月24日には、マジシャンを施設にお呼びしました。

マジックの内容は、何もない場所からウサギを出すマジックや、利用者と一緒に参加して、マジシャンと一緒にを行う物がありました。

利用者みなさんは、マジックに興味津々といった



表情でした。最後は、出てきたウサギと触れ合って全員で写真を撮りました。マジックショーは、あまり見たことがない方が多かった事もあり、楽しんでいただけただけの様子でした。(和田)

大谷田就労支援センター 大谷田ホームだより

今年度、就労移行支援事業室に在籍された方は4名いらっしゃいました。4名の方皆さん全員が就職することができました。ご本人は元より、ご家族の方にとっても大変に喜ばしいことと思えます。おめでとうございませう。

4名の方の業務内容ですが、Aさんはある企業の日々の物流データの入力。Bさんは、ケータリング企業の委託先の食堂で、盛り付けやお皿洗いなどの厨房補助業務。Cさんは、運送会社で社員の履歴書等の人事データの入力。Dさんは、アミューズメント系人材派遣会社で、パートさんやアルバイト社員さんの勤怠管理データの入力の作業を行っています。

就職後は、ご本人や企業様に対してアフターフォローを行っています。仕事の内容が複雑で習得に時間がかかるため、習得の支援を行うことを目的でお伺いすることもあります。あるいは、企業様が始めて障がいのある方を雇用するため、ご本人への関わり方や

仕事の教え方やその考え方、障がいに對する配慮の方法などをお伝えさせていただくこともあります。また、既に障がいのある方を雇用した経験もあり、仕事の教え方や対応方法などは理解されている企業様には、ご本人へのバックアップと、生活面等でのフォローに重点をおいて関わらせていただいています。これらのことは、ご本人の状況や企業様の要望に合わせて臨機応変に対応させていただいています。これまでの経験や企業様の理解度を踏まえると、このような個別の対応を取らせていただくことで、我々の活動にご理解と信頼をいただけていると実感しています。

今年度は震災の影響で、一時期採用活動が滞っていた時期もあり、全般的に雇用環境が厳しい中、個々のメンバーが就職したいという強い意志を持ち、訓練や面接を何度も行った経緯もあって、無事就職に結びつきました。採用いただいた企業様からも、仕事をよくやっていただいているとお褒めの言葉もいただいております。

中にはまた時期をみて雇用したいので大谷田就労支援センターから紹介して欲しいとお言葉をいただいている企業様もあります。



このように嬉しいことがある反面、この間、関係機関様から求人紹介がいくつかありましたが、紹介者がいないという、先方には大変申し訳ない状況も抱えています。現行の制度では、原則年度途中の入所者がいないため、今年度のように利用者の方がいなくなってしまうと、就労移行支援事業は成り立ちません。年度途中の入所等もできるようにすると更に地域の障がいのある方々のニーズに応えられると考えています。(酒井)

神明福祉園だより

新しい年になり2か月が経ちました。各地方での記録的な大雪で、東京でも積雪がありました。その日は通所バスも2時間遅れで園に到着。そんな寒さの中もお休みする利用者もなく、皆さん雪にも負けずに通所してきてくれました。嬉しいことですね。

1月の各班の班活動では、書初めをして今年の抱負を書きました。「好きなことをする・宴会・コーヒー・活動参加・マイペース・今年もかわいく・たくさん歌う」等々それぞれ思い思いに今年の抱負を書きました。どんな1



年になるのか楽しみです・・・

1月は、2つの班が東京タワーと越谷のレイクタウンに外出をしています。東京タワーでは下が見える床の上に立ちキヤーカー、周囲を散策してたくさん歩いたので帰りの電車では疲れて皆さん無口になっていました。

レイクタウンの外出では、フードコートで沢山ある食事の中で好きな物を選び食べたい物が食べられ大満足。本屋さんを見たり、ドーナツを食べたり広い敷地で端から端まで歩くだけであつという間に時間が過ぎてしまいました。



23年度は、あと1回ずつ班での外出があります。年度最後の外出になるので、楽しい外出になるように各班で内容を考えている所です。ワクワク!!ドキドキ!!
インフルエンザも流行しているので、体調管理はしっかりとしていきたいかなってはいけませんね。(永池)

神明デイサービスセンター だより

日差しに春の気配を感じるもの、まだまだ寒い日が続いていますが、いかがお過ごしですか?

デイサービスでは、月曜日に行われている「絵画」講習会の成果を多くの方に御覧頂こうと、2月16日(木)〜29日(水)まで、綾瀬メトロギャラリーにて展示会を開催致しました。

作品は、油絵・水彩画・塗り絵を用いて、風景画を中心に、動物や静物など思い通りに作品を仕上げました。中には、半年近くかけ仕上げた利用者さんものいらつしゃいました。

ギャラリーには「御意見帳」を設置し、見に来られた方に感想やアドバイスを頂きました。その事が、皆さんの良い刺激になり、今後の作品作りのパワーに



なつたようです。

今後、絵手紙・陶芸も含め綾瀬メトロギャラリーでの展示会を開催していく予定です。その際は是非御覧頂き、御意見帳に一言メッセージを残して頂けると、利用者さんの励みにもなりますので、よろしくお願い致します。



これまで、デイサービスでは2月になると大谷田公園に梅を見に行っていました。しかし、今年利用者さんからの意見を踏まえ、梅ではなく桜に変え、4月にお花見に行く予定を立てました。場所は水元公園です。車に乗ったままお花見が出来るという事で、ゆつくり、のんびり、安心して見れそうです。

しかし、今年は例年に無い程の寒さと雪に見舞われ、開花が遅れそうだと予想でした。その為、開花情報をしっかりと見極めて日程を決め、楽しいお花見ドライブにしたいと思います。(都築)

神明福祉作業所だより

立春を過ぎて、少しずつ暖かくなり、梅もちらほらと咲き始めてきました。桜の開花予想も出ましたが、今年

は少し遅い開花予想ですので、入所式位にちょうど満開になるといいなと思っております。

年明けから各グループ外出活動があり『葛西臨海公園水族館』『鉄道博物館』『越谷レイクタウン』『江戸切子グラス作り体験』などに行ってきました。

その他にもあおぞらグループでは、社会生活力アップセミナーを行い、『コミュニケーション』について、話し合いとロールプレイを行いました。今回はあおぞらグループだけではなく、かりんグループから数名参加し、初めて合同で行いました。自分の意見を言ったり、実際にみんなの前に出て、大きな声で挨拶をしたりと、日常のコミュニケーションについて再確認しました。次の日から作業所では、丁寧なあいさつが響いていました。

かりんグループでは4月からのコーヒー販売再開に向け



て、試飲会を何
度も行い、最高
のブレンドを提
供できるように
準備しておりま
すので、楽しみにお待ちください。



(合田)

グループホームオハナだより

気温の差が激しく体調を管理するの
が難しいこの時期ではありますが、オ
ハナのみんなは風邪も引くこともな
く、元気に過ごすごうできてホッ
としています。

ただ、気がかりなのは花粉：!!花粉
症の人には辛い時期となりました。こ
れからも健康管理には充分気を付けて
いきたいと思っています。

早いものでもう3月となりました。
昨年は東日本大震災、そして余震や原
発、又は自然災害の多い年でした。あ
れから1年、まだ地震があつたりと不
安な毎日ではありますが、みんな安心
して暮らせるように配慮しながら防災
対策をしつかりと行って、より心豊か
な生活を送れるよう心がけたいと思
います。

3月にはお花見など外にでる機会が
少しずつ増え、みんなも楽しみにして
います。みんなの希望を聞きながら楽
しい外出計画を立てていきたいと思

ます。

又、今オハナでは
風船バレーと昨年の
紅白歌合戦のDVD
にはまつており、日
中はマイクを片手に
歌い、夜は風船バ
レーで大はしゃぎ。毎日にぎやかな声
飛び交っています。



みんなは、いつも変わらずに笑顔で
マイペースと、個性豊かに過ごしてい
ます。

今年度も充実ある日々を過ごすこと
ができました。みんなに感謝です。

来年度も変わらずにのんびりと過ご
したいと思います。1年間色々有難
うございました。来年度も宜しくお願
いします。(永山)

あいのわ支援センターだより

ひと雨ごとに暖かくなり、桜のつぼ
みも少しずつ大きくなってきました
ね。皆さまいかがお過ごしでしょう
か。

あいのわ支援センターではこの春、
1階フロアに生活介護施設(神明福祉
園分室)が開所する運びとなりました。
た。

4月からは6名の新しい仲間が加わ
り、ひとりひとりを大切に、楽しく、
賑やかに活動をしていく予定です。神

明福祉園の方々はもちろん、支援セン
ター内のケアホーム、ショートステ
イ、入浴サービスのご利用者様との交
流もできるだけ持っていったらと考え

ています。
関係各所の皆様には色々とお世話に
なるとは思いますが、どうぞよろしくお
願い致します。(内田)

平成23年度第3回評議員会・理事会にて承認された第10期理事・相談役・監事、
評議員、第6期苦情解決第3者委員、平成24年度施設長人事は次の通りです。

第10期 理事・相談役・監事(任期：平成24年4月1日～平成26年3月31日)

◎第10期理事

岸本美恵子(理事長)

鈴島妙子(副理事長)、丸山亮子(副理事長)

長井喜三郎、有馬妙子、秋山啓司、鈴木真理子、武内啓友、横内康行

渡邊正人、今野光信

【相談役】 勝又 和夫

【監事】 佐久間庸夫、高島節郎

第10期 評議員(任期：平成24年4月1日～平成26年3月31日)

岸本美恵子、鈴島妙子、丸山亮子、長井喜三郎、有馬妙子、秋山啓司

鈴木真理子、武内啓友、中村富美子、小金井寛、山野正雄、磯部幸子

磯前美和子、市川光江、吉本恵美子、斑目幸子、徳丸省一、富田潤子

今井澄子、諸星洋子、太田則子、萩原邦男、小山徹信

第6期 苦情解決第3者委員(任期：平成24年4月1日～平成26年3月31日)

藤巻暎一、磯部幸子、神代和幸

平成24年度施設長人事

神明障がい福祉施設 渡邊 正人

綾瀬あかしあ園 横内 康行

足立あかしあ園 今野 光信

竹の塚あかしあ園 太田 則子

大谷田障がい福祉施設 萩原 邦男

あいのわ支援センター 小山 徹信

投稿欄

(俳句・川柳など募集中です)

春風に 逆らい駆ける 子等の声

秋山 啓司

幸うすき 障がい持ちて 生まれし孫娘
十七歳で 清らかに散り

佐々木きよ子

この一句

日本いま 一つになりて 暖かし

たなかしらは

東日本大震災から早や1年が過ぎました。日本人の誰もが、1日も早い復興を願っております。(秋山)

後援会だより

(平成24年1月〜2月) 敬称略、順不同

◇一般会員 (1口3千円〜5千円)

霜田文夫

◇団体会員 (1口5千円)

青井四丁目緑会自治会

◇寄付者

西澤歯科医院、西村文雄、渡辺和彦

竹の塚あかしあの杜「なごみ」

(平成24年1月〜2月)

短期入所事業利用状況

利用人数 83名

内児童 15名

延べ利用日数 319泊

内児童 48泊

編集後記

2月の初旬、滋賀県の天津で開かれた研修会に参加してきました。16回〈年〉を数えたこのフォーラムですが、その時々時代を捉えて、福祉の課題や全国の一步先をいく取り組みが紹介され刺激を受けています。今回は、数々のメニューから選択した講座を簡単に紹介します。

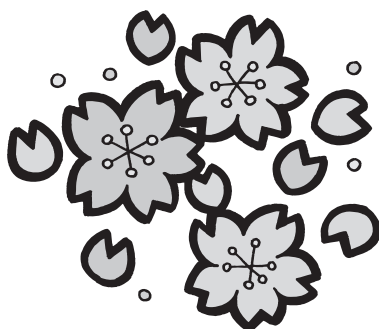
「滋賀発信のプロジェクト」地域創造会議からの報告」

滋賀県では長高齢化社会となる10、20年後を見据え、医療と福祉が一体として生活を支える、「医療福祉」の仕組みを確立することが急務であるとしています。

その実現のため、地域包括ケアの構築(具現化)を目指して、医療福祉サービスの関係者や住民等の民間の主導により、行政関係者も参画し、お互いに顔の見える関係を作りながら、地域の支え合いの中で、高齢者や障がい者など社会的に支援を必要とする人たちを包み込むことを目的として医療福祉・在宅看取りの地域創造会議を設立しています。

ここでは紙面の都合で具体的な仕組み・活動は紹介できませんが、同じ趣旨で京都市や千葉県柏市でも取り組んでいますので、柏市は近いので来て頂いて皆様にご紹介する機会を持たらと考えています。

年度末を迎え、新年度の準備に追われております。新入職員や異動など、新体制に温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。



●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願ひ、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行っております。

一人でも多くの方々にご賛同いただき、後援会への加入ご支援をお願い致します。お申し込みお問合せは後援会事務局 電話(3849) 1188まで